

# 令和7年度相模原市総合防災訓練（兼）第46回九都県市合同防災訓練（相模原市会場）

## 運営支援業務委託仕様書

### 1 業務名

令和7年度相模原市総合防災訓練（兼）第46回九都県市合同防災訓練（相模原市会場）運営支援業務委託

### 2 業務目的

本業務は、令和7年度相模原市総合防災訓練（兼）第46回九都県市合同防災訓練（相模原市会場）（以下「訓練」という。）が円滑に実施され、訓練実施目的が達成できるよう、相模原市（以下「発注者」という。）に対し、計画の作成、訓練会場の設営、運営等、各種支援を行うことを目的とする。

### 3 訓練概要

#### （1）目的

本訓練は、相模原市地域防災計画に基づき、大規模地震災害発生時における迅速かつ円滑な災害応急対策を図ることができるよう、市民、防災関係機関等と連携、協力し、総合的な訓練を実施する。また、併せて、九都県市合同防災訓練実施大綱に基づき、相模原市会場として九都県市と連携した訓練を実施する。

#### （2）訓練規模

ア 参加機関・団体数 約100機関

イ 参加者数 約2,000人（訓練参加者及び観覧者）

#### （3）訓練会場等

相模総合補給廠一部返還地（相模原市中央区内）、相模原スポーツ・レクリエーションパーク暫定駐車場、向陽小学校

#### （4）訓練実施日時（時間は予定）

令和7年8月31日（日）午前8時30分から午前10時00分まで

※防災フェア（展示・体験）は、午前8時30分から午前10時00分まで

### 4 業務概要

受託者は、発注者が実施する訓練において、次の支援等を行う。

（1）全体業務計画書の作成

（2）会場レイアウトの作成

（3）全体業務計画書に基づいた訓練会場設営及び運営支援等

（4）保険の加入

（5）訓練会場撤去・原状回復

## 5 具体的業務内容

### (1) 全体業務計画書の作成

業務全体のスケジュールを示した全体業務計画書（工程表）を作成及び提出し、発注者の承認を得ること。作成にあたって、発注者が提供できる資料は、受託者に貸与する。

### (2) 会場レイアウトの作成

発注者が提示した【別紙1】令和7年度相模原市総合防災訓練会場レイアウト（案）に基づき、テントや訓練エリア等を実サイズで落とし込んだ会場レイアウトを作成すること。測量データ(.dxf)は発注者が提供する。

### (3) 全体業務計画書に基づいた訓練会場設営及び運営支援等

全体業務計画書に基づき、次のとおり訓練会場の設営等を行うこと。設営に関し、疑義が生じた場合は、発注者に確認を行い、発注者の意図に沿った設営等を行うこと。また、訓練当日の運営支援等を行うこと。

#### ア 訓練会場の整備

- (ア) 訓練本番前の8月下旬に訓練会場全面（約 38,200 m<sup>2</sup>程度）の除草及び除草を行った草の廃棄を行うこと。廃棄物の処理及び清掃に関する法律等、関係法令を遵守し、適正に処理すること。
- (イ) 訓練会場内の段差がある発注者が指定した場所について、土嚢袋（砂入り）100体を使用し、平らにする整備を行うこと。
- (ウ) 降雨時の泥濘防止及び車両走行時の砂塵等巻き上がり防止のため、会場内の車両及び来場者の通行路に段差が生じないように土嚢等により段差を埋めてから鉄板敷を施すこと。
- (エ) 会場内の発注者が指定した場所及び救出救助訓練エリア等と観覧スペースの境界に5m間隔程度で杭を打ち、ロープでつなぐこと。

#### イ 基準線（墨出し）の設定及び撤去

会場レイアウトに基づき、設営する全ての備品等の位置の基準線（墨出し）をスズランテープ等で設定すること。会場内を車両が走行することから、地表に鋭利な突起物が露出しないように処理すること。また、訓練本番前に市が指定した部分の基準線を撤去すること。

#### ウ テント等の設営

訓練実施のために必要なテント等の設営を行うこと。規格及び数量は仕様項目書を基本とすること。テントは杭を打つなどして、地面に固定させること。

#### エ 訓練用模擬建物の設営

以下に示す（ア）及び（イ）についての構造検討書を作成及び提出し、発注者の承認を得たのち、設営すること。

（ア）中高層建物1棟（「【別紙2】中高層建物イメージ図」参照）

（イ）倒壊建物1棟（「【別紙3】倒壊建物イメージ図」参照）

#### オ 訓練用車両の設営

普通自動車（乗用車）及び軽自動車を走行できる状態で搬入すること。【別紙4】訓練用車両配置イメージ図のとおりに設営（転覆及び横転処置）したのち、燃料、エンジンオイル及び

冷却水等の液体類を除却すること。当該車両は訓練時に破壊作業（窓、ドア、屋根などを破壊するが、タイヤやハンドルは破壊せず、走行できる状態を維持する。）を行い、訓練後の原状回復は行わない。当該車両は、訓練終了後に会場から撤去すること。

カ 仮設トイレ、簡易手洗い器の設営

仮設トイレ、簡易手洗い器を設営すること。設営にあたっては次の点に留意すること。

（ア）簡易手洗い器の水は絶えないように補充すること。

（イ）目隠しパーティションを設置すること。

（ウ）設営に係る備品（トイレットペーパー等）の提供、移動確認、仮設トイレ使用の際に出た排泄物の回収処理を行うこと。

キ 看板の設置及び撤去

（ア）発注者が所有している立て看板を発注者が指示した場所に設置し、撤去を行うこと。設置を行う日時は発注者の指示に従うこと。

（イ）発注者が所有しているつり看板を発注者が指示した場所に設置し、撤去を行うこと。設置を行う日時は発注者の指示に従うこと。

（ウ）発注者が所有しているポール看板を発注者が指示した場所に設置し、撤去を行うこと。設置を行う日時は発注者の指示に従うこと。

ク 音響業務の実施

音響設備を設営すること。訓練当日、機器に習熟した技術者を派遣し、これらの機器を操作すること。緊急地震速報やＪアラート等の訓練に必要な音源を訓練当日に発注者が指示したタイミングで流すこと。

ケ 警備業務の実施

警備員は制服等を着用し、訓練参加者及び市民から認識できるようにすること。会場警備に必要な備品等を用意すること。必要人員数及び勤務時間は仕様項目書に記載のとおりとする。

（４）保険の加入

訓練参加者等の訓練時における事故への適正な補償を行うため傷害保険等へ発注者が指示した日時に加入し、保険証券の写しを発注者に提出すること。

ア 補償内容については、記載した補償額以上のものとする。

イ 訓練会場への往復途上の条件を加えること。

保険の種目	保険の対象	補償内容
訓練参加者傷害保険	訓練参加者 1,000 人	死亡・後遺症 250 万円 入院日額 5,000 円 通院日額 3,000 円
訓練観覧者傷害保険	訓練観覧者 1,000 人	同上
施設管理者賠償責任保険	訓練参加・観覧者 2,000 人	補償限度額 3 億円

（５）訓練会場撤去・原状回復

令和7年9月12日(金)までに、設営した会場施設の撤去及び原状回復を完了させること。設営

した会場施設の撤去及び原状回復完了後、引渡し確認検査を実施し、発注者の承認を得ること。

## 6 その他

成果物等の提出

報告書（作成した書類、図面、写真等をまとめたもの）一式を発注者に電子データで提出すること。

## 7 留意事項

- （１）本仕様書は、業務の基本的な内容を示すものであり、業務の遂行上、当然必要とされるものについては、受託者の責任において行うこと。
- （２）受託者は、作業員に対して、従事する作業の手順、安全管理その他必要な事項について指示を行い、作業に従事する際は会社名等の所属を明示するものを必ず身につけるよう徹底すること。
- （３）その他、この仕様書に記載のない事項については、発注者と協議の上決定すること。

以 上